

懇談会の今後の進め方（案）について

名古屋市全体の化学物質対策

- ・化学物質の排出量（P R T R）の把握
- ・環境モニタリング調査 など

活用

リスクコミュニケーション

情報の整備 ¹

対話の推進 ²

場の提供 ³

市民・NPO

- ・示された情報を評価

懇談会

リスクコミュニケーションのあり方を検討

〔必要な情報や具体的な進め方について意見交換〕

事業者

- ・工場に関する情報を提供

学識経験者等

- ・技術的な助言

名古屋市

- ・地域のリスクに関する情報を提供

反映

モデルリスクコミュニケーション

意見交換会・工場見学

発信

事業者による自主的な
リスクコミュニケーション

発信

発信

市民

化学物質への正しい理解を促進し、ライフスタイルの改善に取り組む。

事業者

環境リスクの低減努力、周辺住民との良好な関係の構築に努める。

名古屋市

行政施策（リスク評価、環境教育など）に活用する。

- | | |
|---------|--------------------------|
| 1 情報の整備 | 環境リスクを主体とした情報の整備 |
| 2 対話の推進 | 司会進行や情報をわかりやすく説明できる人材の活用 |
| 3 場の提供 | 相互に意見交換をするような場の設定 |